

熊谷江南 小江川 1000本桜

熊谷・江南に
2つ目の桜の名所誕生！
荒廃林が見事に蘇り、
10年、20年後は
一大名所へと大変身！

ガイドMAP



10年間の活動の成果

- ①コースの全長12km
植栽距離5.2km超
- ②荒廃地解消面積…東京ドーム6個分
(まだまだ拡大成長していきます)
- ③ボランティア動員のべ5,000名超
- ④協力をいただいた地権者70名超
- ⑤200年前の史跡・聖観寺の
発見・整備保存を終えました
- ⑤日本花の会主催
「全国花のまちづくりコンクール」入選
- ⑥コースの案内標識、ガイドマップ、紙芝居
CD『1000本桜音頭』

環境改善の効果

- ①大鷹が移り住みました
- ②40年ぶりにホテルが復活しました

アクセス MAP



す。
んでいま
整備も進
コースの
キング
めるハイ

荒川南側に広がる地域。武蔵丘陵の入り口にため池が点在する、「里山」イメージぴったり風景が広がっています。
熊谷は駅すぐ南の荒川堤の桜が有名ですが、この里山に10年かけて春の名所として1000本の桜の道をつくろうという計画が「小江川1000本桜」。
そして、桜以外の季節にも楽しめるハイ

都心から70キロ
熊谷の里山の四季の楽しみ
熊谷市は埼玉県北部の中心都市。利根川と荒川にはさまれたほぼ平らな地域は、市街地と田園地帯のバランスがとれた住みよいまちです。

小江川地区がある旧江南町は、熊谷市南部、

小江川地区1000本桜事業 事務局
〒360-0103 埼玉県熊谷市小江川429
☎ 048-536-2738 (岡部)
<http://oegawa1000.wixsite.com/start>



ホームページ



google map
事務局住所

荒れた里山を何とかしよう
でも、「それだけじゃおもしろくない」

まだわずか10年前。小江川の里山の多くは荒廃して
いました。

自治会を中心に「自分たちの力で何とかしよう」と
いうことになった時、「荒れた山をきれいにするだけ
じゃおもしろくない。「桜でも植えよう」というアイ
ディアが出て植栽が決定。それは荒廃地解消という目
的から手段である桜の植樹、いわば「本音の活動」に
シフトしたといえるのではないだろうか。

さらに、平成21年スタートの熊谷市の市民協働「熊
谷の力」事業に応募して採用決定。翌22年から1年に
100本ずつ1000本の桜を植えていく、「小江川
1000本桜事業」が始まりました。

里親、大鷹、音頭、紙芝居：

桜から広がったあれこれ

植栽は年に一度。苗木は当時テングス
病に悩まされていたソメイヨシノでな
く、よりピンクが濃い「神代曙」を選び
ました。

より多くの人に関心を持ってもらうた
めの工夫が、1本2500円でそれぞれ
の想いのこもったネーミングを楽しむ
「里親制度」。プレートには

家族や大事な人の名前を
はじめ、「卒業記念」「親
子三代」など思い思いの



平成21年



10年かけて
100本ずつ増やした
1000本の桜

ルも住み始めま
した。

現在も12名の

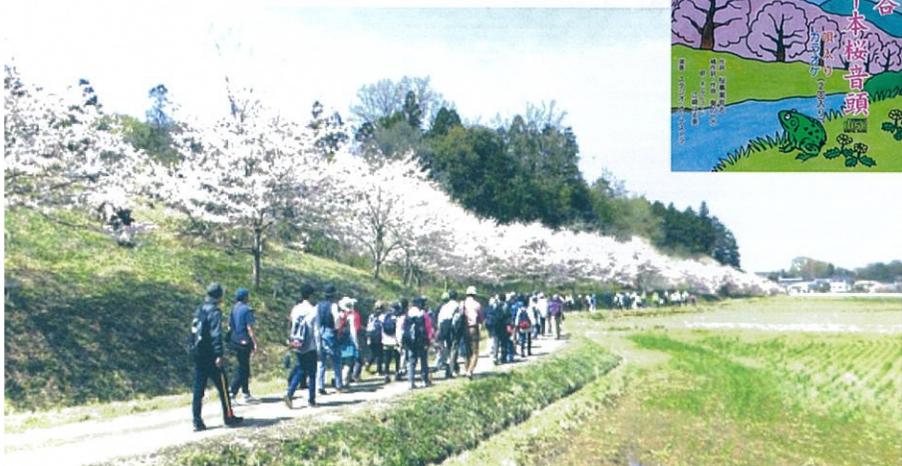
役員を中心に、5〜11月の間に草刈
り、剪定、施肥、消毒など維持管理活
動のほか、希望に応じて伐採、整備、
植栽も継続。500名を超える里親さ
んのPR活動も心強いです。ホームペー
ジ、CD『1000本桜音頭』PR紙芝居
も制作されました。

荒廃林から10年かけて計画達成した
小江川1000本桜。10年、20年後は、
熊谷の一大名所に変身しているでしょ
う。



ネーミング。訪れる人を楽し
ませます。

10年の間に、「熊谷の力」
のほか「埼玉県寄居林業事務
所などいくつかの支援を活
用。200年前の史跡が発見・
整備され、大鷹、40年ぶりに
復活したホタ



小江川1000本桜 ガイドマップ

7つのみどころ、3つのめじるし +1 イラストMAP

林道、能動に面した丘陵地に、手ごろな起伏と「沼」と呼ばれる雨水利用の「ため池」が多い変化に富んだ風景。ハイキングファンに評価されるコースの全長は約12キロで、秋にはコナラなどの紅葉も楽しめます。

山歩きの醍醐味が味わえる「竹の内エリア」、小高い丘をぐるりと一周する「山中エリア」、塩古墳群が近い「船川エリア」。3つに大きく分かれ、どこから回っても楽しめます。



MAP外+1 「三人寄れば」の文殊寺



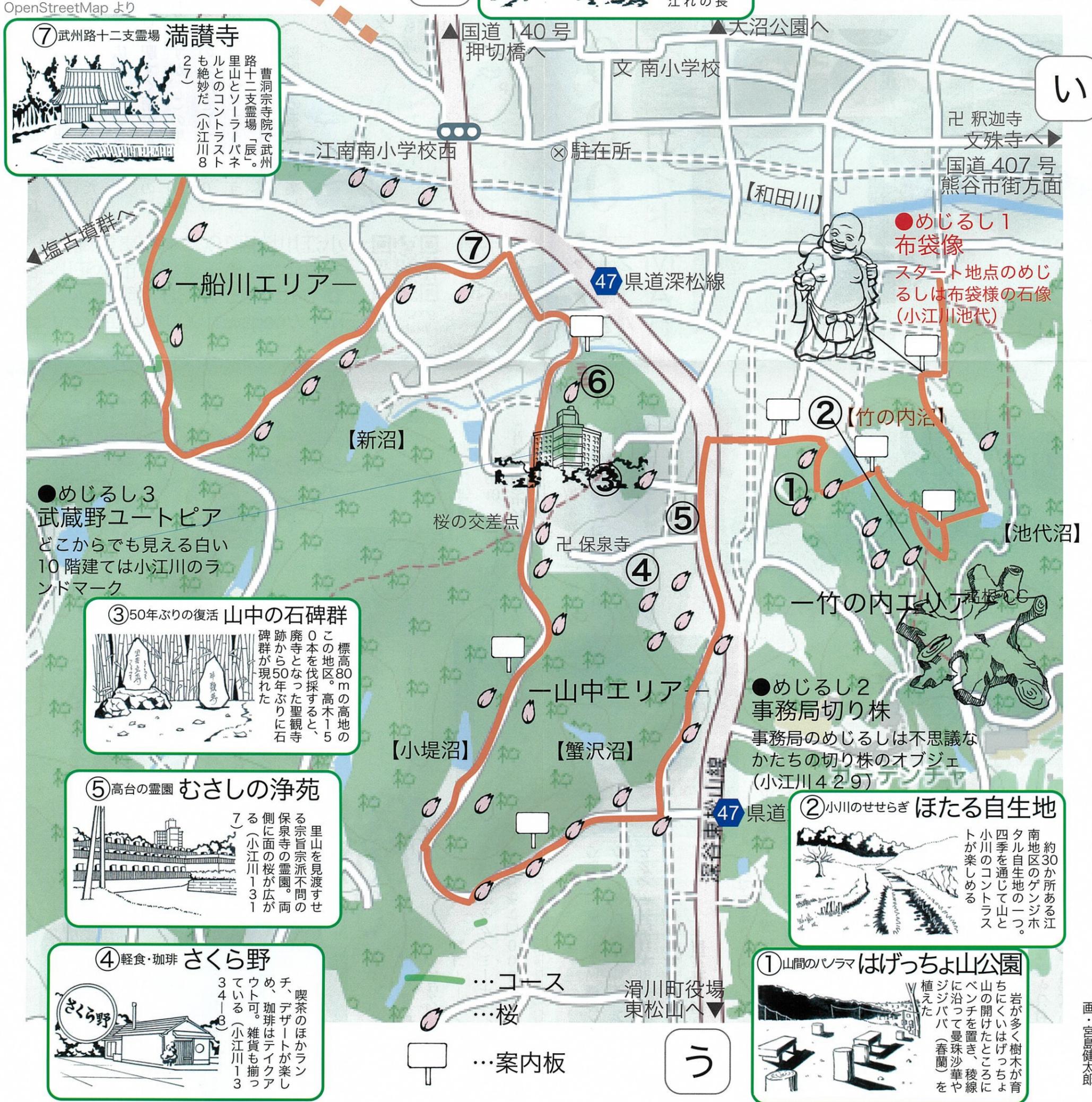
⑥小江川鎮守の杜 高根神社



あ

⑦武州路十二支霊場 満讃寺

曹洞宗寺院で武州路十二支霊場「辰」。里山とソラーパネルとのコントラストも絶妙だ(小江川827)



マナーのお願い 植栽域はすべて地元の地権者のご厚意にて植栽した区域です。植物、草花などは持ち帰らないでください。ゴミなどはお持ち帰りください

画・宮島健太郎